

『応援』（3月2日配信）

こんにちは。戸田です。よろしくお願いします。

今日はデフリンピックについてお話しします。

朝霞市には東京デフリンピックに出場した選手が4人います。陸上棒高跳びの北谷選手。あと3人がバドミントンの選手で、長原選手、矢ヶ部選手、鎌田選手です。

デフリンピック期間中に朝霞のろう者協会と手話サークルで応援に行きました。応援はサインエールがありますよね。ただ見てわかる方法でと思い、応援用のうちわを作ることになりました。コンサートなどでよく見かけるやつです。

ネットで注文しました。今まで作ったことはありません。届いたうちわは想像より大きかったです。文字を貼り付けるのですが、考えた結果「金」にしました。切るのも難しければ、貼るのも難しかったです。漢字だけでは面白くないので、100円ショップで飾りを買ってボンドで張り付けて、完成したのがこれです。

まずは陸上の北谷選手の決勝戦の応援に行きました。一生懸命応援し、結果は3位で銅メダルを獲得しました。その足でバドミントンの応援に行きました。バドミントンは団体予選の応援でした。うちわを両手に持ち必死で応援しました。予選を無事通過し、その後日本団体初の金メダルを獲得しました。とても感動しました。地域の選手に対し、ろう協、サークルで応援に行けたことは非常に嬉しかったです。

必死に応援した翌日、両胸の筋肉痛に襲われました。まあそれも良い思い出ですね。